

地震による防災（液状化等）に関する知識普及および広報事業

【支援金確定額：190,762円 支援率：80%】

記入日：平成26年3月28日

■どのような活動をしている団体ですか？

1. 市民参加による市民・行政との協働によるまちづくりとNPOとの連携。
2. 緑化・芝生化活動；校庭（小・中学校）、園庭（幼稚園等）の芝生化を推進。
3. 教育・啓発活動；まちづくりを中心とした講習会開催による教育・啓発を行っています。
4. 防災および被災地支援活動
 - ・2011年3月に発生した東日本大震災への被災地支援等。
 - ・液状化被害の減災を目的とし液状化対策プロジェクトを立ち上げ減災に向けた自治体・地域住民への情報提供。現地技術調査等。



地震防災フォーラムの開催
(船橋市勤労市民センターホール)

■事業立上型支援金をどのように活用されましたか？

- ①地震防災の液状化に関する知識・普及をテーマにパンフレットを作成。
- ②液状化のメカニズムを理解・促進して頂くために室内試験器を制作。
- ③地震防災フォーラムの開催：地震防災と地域の地盤等の関連を述べた特別講演。船橋市危機管理課の地震防災対策等の講演、当プロジェクトチームの研究成果の発表。
- ④地震防災セミナーの開催：浜町、中央公民館で開催、危機管理課の地震防災対策（津波を含む）の講演。ドキュメンタリー映像の上映（浦安市制作）。当プロジェクトチームの研究成果の発表。
- ⑤上記活動状況を小冊子として取りまとめ、市民の方々に広報。



地震防災セミナー開催（浜町、中央公民館）での液状化室内模擬試験

■事業立上型支援金を活用して事業を実施することで、どのような成果がありましたか？

事業の実施は液状化の基本的な知識・技術、被害実態、対策、社会的な対応について調査・研究を進めた。支援金を活用し、地震防災の特に液状化に関する知識・普及をテーマに、パンフレットの作成、液状化室内模擬試験器の制作、地震防災フォーラム、地震防災セミナーの開催等の一連の事業を行った。また、セミナーでは浦安市で制作されたドキュメンタリー映像の上映を実施した。

成果としては、これらの事業活動を総まとめにした「小冊子：液状化へのエントランス」を作成し、広く市民の方々に地震防災に関する啓発等に役立てていただければ幸いです。

■今後の活動の抱負について

船橋市においては、液状化の被害が浦安市、習志野市、千葉市に比べて戸建住宅等への被害が顕著でなく、あまり重要視されていない。このような背景から、液状化の被災状況は対象構造物、発生面積、被害の概要等についてまとめて記録されていない。よって、来年度は船橋市の関連部署（住宅、道路、下水所管課等）に被害実態等のヒアリングを行い、市の協力を得て被害実態調査をまとめる。また、大学や研究機関にもヒアリングを行う。これらの結果に基づき、今後予想される直下型大地震等に対し住民の方々に、防災意識の向上や災害に対処する地域住民の合意形成を促進する「キッカケ」に寄与できればと考える

■問い合わせ先：代表 花村 義久（はなむら よしひさ）

TEL：047-439-2082 E-mail:y-hanamura@nifty.com